



2010年6月22日

各位

会社名 田辺三菱製薬株式会社  
代表者名 取締役社長 土屋裕弘  
コード番号 4508 東証第一部・大証第一部  
問合せ先 広報部長 笹生好久  
TEL:06-6205-5211

### 支配株主等に関する事項について

当社の親会社である株式会社三菱ケミカルホールディングスについて、支配株主等に関する事項は、以下の通りとなりますので、お知らせいたします。

#### 1. 親会社、支配株主(親会社を除く。)又はその他の関係会社の商号等

(2010年3月31日現在)

名称	属性	親会社等の議決権 所有割合(%)	親会社等が発行する株券が 上場されている金融商品取引所等
株式会社三菱ケミカルホールディングス	親会社	56.46%	株式会社東京証券取引所市場第一部 株式会社大阪証券取引所市場第一部

#### 2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けおよび親会社等との関係

##### 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社等との資本関係

当社は、親会社である株式会社三菱ケミカルホールディングスを中心とした三菱ケミカルホールディングスグループに属しています。同社は当社の前身のひとつである三菱ウェルファーマ株式会社が、2005年10月に三菱化学株式会社と共同して、株式移転の方法により完全親会社として設立されました。

その後、2007年10月に三菱ウェルファーマ株式会社が田辺製薬株式会社と合併したことにより、同社は当社議決権の56.46%を所有する親会社となりました。しかしながら、当社が経営上の諸決定事項について親会社の事前承認を要する事項はありません。また、親会社の当社持分比率は2007年10月1日から原則として10年間維持されることになっており、現状において持株比率を増減させる方針はないと認識しています。

三菱ケミカルホールディングスグループでは「機能商品」「ヘルスケア」「素材」の3事業分野を三本柱とし、株式会社三菱ケミカルホールディングスは、当社を含め三菱化学株式会社、三菱樹脂株式会社、三菱レイヨン株式会社の4社を中核として事業を展開しています。当社は医療用医薬品の研究、開発、製造、販売の一貫体制を有しており、同社グループ内で、ヘルスケア事業の中心的な役割を果たしています。同社グループ内には、当社以外にヘルスケア事業を構成する会社が数社ありますが、当社は医療用医薬品の製造販売を主たる事業としており、そのいずれの会社とも事業が競合することなく、経営の独自性を保っています。

#### 親会社等やそのグループ企業との取引関係

当社と親会社である株式会社三菱ケミカルホールディングスおよびその企業グループとの間では、

- ・ 原材料等の仕入、化成品等の販売
- ・ 神奈川県横浜市、茨城県神栖市での研究所、工場の土地、建物等の賃貸借契約および業務委受託契約の締結
- ・ 親会社等の企業グループが所有している知的財産権についての独占的实施権の許諾対価の支払
- ・ 研究の委託や情報開示についての契約の締結
- ・ 海外子会社の業務委託契約

などの取引関係がありますが、これらは基本的に、一般的な市場価格を参考に双方協議の上、取引条件が決定されています。

なお、製品の売上に係る独占的实施権の許諾対価の支払いは2009年9月30日で終了しましたが、当該実施権の許諾については2009年10月1日以降も存続し、当社の合意なしに解約されることはありません。

また、当社グループが親会社等の企業グループから、神奈川県横浜市において賃借している当社研究所建物については、同敷地内に自社所有の研究棟建設を計画し、2010年1月より創薬化学研究棟建設に着手しており、計画の進捗に従って研究所建物の賃借は順次解消される予定であります。さらに海外子会社の業務委託については、当社の国際事業展開の進捗に従い、2011年から2012年を目処に順次解消する予定であります。

株式会社三菱ケミカルホールディングスとの間では運営費用の負担に関する契約を締結し、国内外の事業展開における同社のブランド価値およびその総合力に依拠した便益の享受に対し、同社の運営に関して発生する費用を負担しております。運営費用は、人員、総資産、粗利益を負担基準として算出した金額としており、また売上高に一定率(0.5%)を乗じて算出された金額を上限としております。

ただし、上記取引は、2010年3月期において、原材料等の仕入れは9,766百万円、化成品等の販売は61百万円、神奈川県横浜市、茨城県神栖市での研究所、工場の土地、建物等の賃借および業務委託については1,891百万円、親会社等の企業グループが所有する知的財産権の独占的实施権の許諾対価については1,370百万円、運営費用は397百万円などいずれの場合も、当社の総費用に占める割合は僅少なものであります。

### 親会社等やそのグループ企業との人的関係

株式会社三菱ケミカルホールディングスまたはそのグループ企業の役員または従業員のうち、現在、同社等の監査役1名が当社の監査役を非常勤で兼務しています。なお、当社の監査役の総数は4名です。

当社における役職	氏名	グループ企業における役職	就任理由
監査役(社外)	西田 孝	株式会社三菱ケミカルホールディングス 常勤監査役(社外) 三菱化学株式会社 監査役(社外)	グループ監査の観点 から兼任

なお、当社の代表取締役社長 土屋裕弘は株式会社三菱ケミカルホールディングスの取締役を非常勤で兼務しています。

また、当社グループは研究機能、情報システム部門等の連携等のため三菱ケミカルホールディングスグループより2010年6月1日時点で7名の出向者を有期で受け入れています。

親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的关系などの面から受ける経営・事業活動への影響等がある中における、親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方及びそのための施策

上記のとおり、親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的关系などの面から受ける経営・事業活動への影響等はほとんどないものと考えております。

#### 親会社等からの一定の独立性の確保の状況

当社と親会社である株式会社三菱ケミカルホールディングス間で、「当社は上場会社として独立した判断に基づいて経営を行う」ことを確認しています。

また、三菱ケミカルホールディングスグループは、「グループ経営規程」に基づき運営されており、本規程において、親会社の直接出資会社に対する関与はグループの経営方針・経営戦略に関わる分野とし、直接出資会社の経営執行の自主性を尊重する旨を明記しています。

よって、親会社からの一定の独立性が確保されていると認識しています。

### 3. 親会社等の企業グループとの取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

上記 2.- を含め、親会社の企業グループ内の各社と取引を行う際には、当社株主全体の利益最大化を図るべく、当社グループの企業価値向上を最優先して決定しています。

以上